

大穂学園コミュニティ・スクール推進会議

＜大穂学園コミュニティスクール推進会議の構成メンバー＞

地域の方：17人 学識経験者：1人 PTA関係：6人 学校職員：5人 合計29人

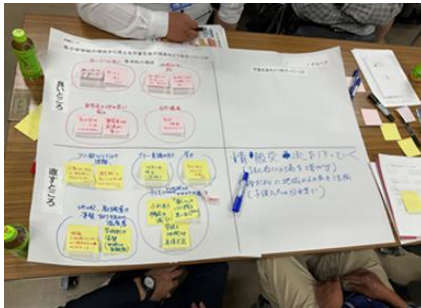
「大穂学園をどんな学校にしていきたいか」「大穂地区では、どんな子供たちを育てていきたいか」「大穂地区の子供たちにどんな力を身に付けてもらいたいのか」そんなことを話し合う「コミュニティ・スクール協議会」の本格導入(R6年度)に向けて、只今、準備を進めてきているところです。この1年間の「大穂学園CS推進会議」(準備会議)の取組をまとめました。

第1回推進会議(5月18日(木))

熟議テーマ「各小中学校から見える子供たちの成長をどのように見守っていくか。」

各小中学校のグランドデザインを紹介した後、現在の各小中学校の良い点と課題について意見を出し合いました。その後、出された課題に対して、地域としてどのように見守っていくかについて話し合い、模造紙にまとめ、グループで話し合ったことを共有しました。

★保護者、地域、学校が感じていること、考えていることを確認し合うことができました。また、地域の良さを再認識したり、学校が抱える課題を確認したりすることができました。



地域の良さを再確認したり、学校が抱える人的な課題や学習に関するサポートなど様々な課題について話し合ったりすることができました。

保護者・地域・学校のそれぞれの立場や視点で考えていることを確認し合うことで大穂学園としての課題を共有することができました。



第2回推進会議(9月26日(火))

熟議テーマ「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか。」

大穂学園の小中学校5校から出された「現在、学校が困っていること」に対する支援策について、学校ごとのグループに分かれて話し合いました。推進委員の皆様から様々な意見が出され、熱い話し合いの場となりました。話し合いの中では、地域のボランティアを募ることや回覧板等の情報発信の仕方などの意見が出されていました。



地域と協力して取り組める「具体的に必要なこと」について意見を出し合いました

現在、各学校で困っていることについて、地域として支援できることと難しいことを分類しながら、具体的な対応策について話し合いました。



第3回推進会議(1月26日(金))予定

熟議テーマ「地域に大穂学園CSを広げるためにどのようなことをしたらよだろうか」

大穂学園コミュニティ・スクールを地域に広げるためには、どのようなことをしたらよいかを学校ごとのグループに分かれて話し合う予定です。また、広げるための一手段として大穂学園コミュニティ・スクールのスローガンについても話し合います。さらに、最初に学園全体で実行することとして、登下校の見守りについても話し合う予定です。